



ワークショップ風景① ショートストーリーテリング
道具にまつわる簡単な話を自作し、話すこと、聞くことに慣れるためのワークです。

ワークショップ風景② リレースケッチ（即興劇のリレー）
参加者が入れ替わり即興場面を作り出すワーク。想像力の向上と相互作用の理解が目的です。



ワークショップ風景③ 協力ジェスチャー
複数の参加者で機械の動きを模倣。協力し呼吸を合わせることを体感的に学びます。

ワークショップ風景④ マッチ棒を使ったエクササイズ
複数の参加者と一本のマッチ棒を支えあい、協同と集中のエクササイズです。



ワークショップ風景⑤ CRC・児童保護についてのレクチャー
子どもの表現する権利、大人の保護義務、パレスチナ社会の実情についてレクチャーが行われました。

ワークショップ風景⑥ CRC、児童保護のグループワーク
子どもの心身の健全育成のために必要なこと、教育者の役割についてグループワークを通じ考えました。



実践フェーズ① 子どもとのドラマゲームの実践

ワークショッププログラムの締めとして、子どもと供に実際にドラマエクササイズを行う機会が提供されました。



実践フェーズ②子どもとのドラマゲームの実践

専門家のアドバイスの元、子どもの発言や行動を過度に規制せず、発話や表現を促すファシリテート方法を学びました。



修了証の授与

ワークショップ終了後には参加者に修了証が授与されました。



日本人専門家によるパペットワークショップ

折り紙を使ったパペット製作など、ドラマ・エデュケーションの多様なあり方を学びました。



ワールドカフェセッション

ヘブロン社会の抱える問題点、子どもの状況、事業が発展すべき方向性について供に提起し考えました。



プランニングワークショップ

1期以降の事業の具体的なアクションプランを参加者から提案する機会を設け、地元主体の事業実施を行っています。